

平成 27 年 度

石狩湾新港管理組合各会計歳入歳出決算説明書

(主 要 な 施 策 の 成 果)

石 狩 湾 新 港 管 理 組 合

# 目 次

## 一般会計歳入歳出決算説明書

一般会計歳入歳出決算説明 .....	1
決 算 説 明 の 内 訳 .....	2
一般会計歳入歳出決算主要な施策の成果 .....	6

## 港湾整備事業特別会計歳入歳出決算説明書

港湾整備事業特別会計歳入歳出決算説明 .....	9
決 算 説 明 の 内 訳 .....	10
港湾整備事業特別会計歳入歳出決算主要な施策の成果 .....	13

# 一般会計歳入歳出決算説明書

# 一般会計歳入歳出決算説明

## 1 総括

平成27年度一般会計における

歳入決算額は	2,062,488,096 円
歳出決算額は	2,007,335,852 円
であって、差引き	55,152,244 円

の歳計剰余金を生じた。

## 2 歳入

平成27年度の収入済額は 2,062,488,096 円

であって、これを

予算現額	2,057,013,000 円	
内訳	当 初 予 算 額	2,306,268,000 円
	補 正 予 算 額	△ 249,255,000 円
	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	0 円

と比べると 5,475,096 円

の収入増である。

この収入済額の内訳は、決算書の収入済額欄に掲げたとおりである。

## 3 歳出

平成27年度の支出済額は 2,007,335,852 円

であって、これを

予算現額	2,057,013,000 円	
内訳	当 初 予 算 額	2,306,268,000 円
	補 正 予 算 額	△ 249,255,000 円
	継続費及び繰越事業費繰越額	0 円

と比べると 49,677,148 円

の不用額となった。

この支出済額の内訳は、決算書の支出済額欄に掲げたとおりである。

決算説明の内訳  
一般会計歳入歳出の科目別比較表

歳 入

(単位：千円)

科 目	予 算					決 算		比 較 (B) - (A)
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越 事業費 財源充当額	予算現額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	
1 分担金 及び負担金	1,914,237	△ 106,446	0	1,807,791	87.8%	1,807,791	87.6%	0
2 使用料 及び手数料	51,951	15,588	0	67,539	3.3%	73,474	3.6%	5,935
3 国庫支出金	50,000	△ 1,272	0	48,728	2.4%	48,166	2.3%	△ 562
4 道支出金	201	0	0	201	0.0%	201	0.0%	0
5 財産収入	10	53	0	63	0.0%	99	0.0%	36
6 繰越金	10	26,852	0	26,862	1.3%	26,863	1.3%	1
7 諸収入	59	3,070	0	3,129	0.2%	3,194	0.2%	65
8 組合債	289,800	△ 187,100	0	102,700	5.0%	102,700	5.0%	0
合 計	2,306,268	△ 249,255	0	2,057,013	100%	2,062,488	100%	5,475

歳 出

(単位：千円)

科 目	予 算					決 算		比 較 (A) - (B)
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越 事業費 繰越額	予算現額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	
1 議会費	10,266	0	0	10,266	0.5%	8,276	0.4%	1,990
2 総務費	406,442	3,269	0	409,711	20.0%	385,923	19.2%	23,788
3 港湾建設費	401,734	△ 210,388	0	191,346	9.3%	185,372	9.2%	5,974
4 災害復旧費	12,000	△ 741	0	11,259	0.5%	11,259	0.6%	0
5 公債費	1,104,640	△ 4,836	0	1,099,804	53.5%	1,099,475	54.8%	329
6 諸支出金	370,686	△ 36,559	0	334,127	16.2%	317,031	15.8%	17,096
7 予備費	500	0	0	500	0.0%	0	0.0%	500
合 計	2,306,268	△ 249,255	0	2,057,013	100%	2,007,336	100%	49,677

## 第1款 議 会 費

区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備 考
1項 議会費	10,266,000	8,275,820	0	1,990,180	

### 議会の開催状況

種 別	回 数	備 考
定 例 会	3	
臨 時 会	1	
議 員 協 議 会	4	

## 第2款 総 務 費

区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備 考
1項 総務管理費	409,252,000	385,540,788	0	23,711,212	
2項 監査委員費	459,000	382,536	0	76,464	

職員数 24名 (全体 26名)

### 主な支出状況

科 目	件 名	金 額	備 考
一般管理費		241,055,613	
給 料	職員25名 特別職1名	100,599,600	
職員手当等	職員25名 特別職1名	66,457,255	
共 済 費	職員25名 特別職1名 臨時職員1名	35,174,069	
施設管理費		144,485,175	
需 用 費	港湾施設電気料等	17,203,211	
委 託 料	石狩湾新港港湾警備業務等	113,344,510	
工事請負費	臨港道路区画線工事等	7,160,940	

### 監査の実施状況

種 別	回 数	備 考
例 月 出 納 検 査	12	毎月
指定金融機関の監査	1	
定 期 監 査	1	

### 第 3 款 港 灣 建 設 費

区 分	予 算 現 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	備 考
1 項 国直轄事業 負 担 金	93,782,000 <sup>円</sup>	93,781,850 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	150 <sup>円</sup>	
2 項 補助事業費	83,330,000	83,328,166	0	1,834	
3 項 単独事業費	14,234,000	8,262,155	0	5,971,845	

#### 支出状況

科 目	件 名	金 額	備 考
国直轄事業負担金		93,781,850 <sup>円</sup>	
負担金、補助 及び交付金	港湾管理者工事費負担金	93,781,850	
補 助 事 業 費		83,328,166	
委 託 料	石狩湾新港積算資料作成委託	1,959,014	
工事請負費	東ふ頭道路改良工事等 2 件	79,619,641	
負担金、補助 及び交付金	港湾事業等に係る補助率差額	1,749,511	
単 独 事 業 費		8,262,155	
報 酬	石狩湾新港地方港湾審議会報酬 10 件	50,000	
旅 費	石狩湾新港地方港湾審議会旅費 10 件	13,800	
需 用 費	石狩湾新港港湾計画印刷費	1,791,255	
役 務 費	石狩湾新港地港審速記料	34,830	
委 託 料	石狩湾新港臨港地区変更資料作成業務	3,898,800	
使用料及び 賃 借 料	石狩湾新港地方港湾審議会会場借上料	81,000	
工事請負費	西1号荷捌地舗装補修工事等 2 件	2,392,470	

#### 第4款 災害復旧費

区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1項 港湾施設 災害復旧費	11,259,000 <sup>円</sup>	11,258,730 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	270 <sup>円</sup>	

##### 支出状況

科 目	件 名	金 額	備考
港湾施設災害復旧費		11,258,730 <sup>円</sup>	
工事請負費	本港地区北防波堤災害復旧工事	11,258,730	

#### 第5款 公債費

区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1項 公債費	1,099,804,000 <sup>円</sup>	1,099,474,889 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	329,111 <sup>円</sup>	

##### 支出状況

科 目	支 出 先	金 額	備考
元 金		983,114,542 <sup>円</sup>	
償還金、利子 及び割引料	財務省北海道財務局	983,114,542	組合債元金
利 子		116,360,347	
償還金、利子 及び割引料	財務省北海道財務局	116,357,663	組合債利子
〃	札幌信用金庫	2,684	一時借入金利子



## 一般会計歳入歳出決算主要な施策の成果

## 一般会計歳入歳出決算主要な施策の成果

### 第2款 総務費

款	項	目	予算現額	決算額
総務費	総務管理費		409,252,000 <sup>円</sup>	385,540,788 <sup>円</sup>
		一般管理費	248,735,000	241,055,613
		施設管理費	160,517,000	144,485,175
	監査委員費	監査委員費	459,000	382,536

**(事業の概要)**

人件費や事務所の管理経費及び港湾施設の警備や除雪並びに保守点検等の維持管理。

主な事業の成果は、次のとおりである。

事業名	事業費	事業の成果
石狩湾新港港湾警備業務	45,692,455 <sup>円</sup>	<p>次の業務などを実施することにより、適切な施設管理を行った。</p> <p>港湾施設の警備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲート出入管理(花畔ふ頭、樽川ふ頭、東ふ頭、西ふ頭)</li> <li>・ 巡回(樽川ふ頭、東ふ頭)</li> <li>・ カメラ監視(花畔ふ頭、西ふ頭)</li> </ul>
港湾施設等管理業務	31,959,756	<p>港湾施設の管理及び環境保全を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾施設管理(導灯保守点検、ふ頭内救命具維持管理等)</li> <li>・ 環境保全(臨港道路草刈業務、清掃、防雪柵点検等)</li> </ul>
石狩湾新港地区 臨港道路外除雪業務	21,713,292	<p>臨港道路及び岸壁等の港湾施設の除雪を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間(11月～3月)</li> <li>・ 地区(花畔地区、樽川地区、東地区、西地区)</li> </ul>

第3款 港湾建設費

款	項	目	予算現額	決算額
港湾建設費	国直轄事業負担金	国直轄事業負担金	93,782,000 <sup>円</sup>	93,781,850 <sup>円</sup>
	補助事業費	補助事業費	83,330,000	83,328,166
	単独事業費	単独事業費	14,234,000	8,262,155

(事業の概要)

国直轄事業及び補助事業等の実施による本港に必要な水域施設及び係留施設など港湾施設の整備。

主な事業の成果は、次のとおりである。

事業名	事業費	事業の成果
(国直轄事業負担金) 国直轄港湾整備事業	93,781,850 <sup>円</sup>	次の工事等を実施することにより、港湾施設の整備促進を図った。 次の工事等に係る港湾管理者工事費負担金を支出した。
(補助事業費) 東地区泊地(-3m、-10m) 浚渫工事	40,046,400	<ul style="list-style-type: none"> <li>北防波堤工事 ケーソン据付 2函</li> <li>泊地(-10m)浚渫 A=840m<sup>2</sup> V=2,630m<sup>3</sup> 浚渫工・土捨工 V=2,630m<sup>3</sup></li> <li>泊地(-3m)浚渫 A1,680m<sup>2</sup> V=2,170m<sup>3</sup> 浚渫工・土捨工 V=2,170m<sup>3</sup></li> </ul>
東ふ頭線 道路改良工事	39,573,241	<ul style="list-style-type: none"> <li>東ふ頭線 L=193.40m 下層路盤工 A=2,999m<sup>2</sup> アスファルト舗装 A=2,958m<sup>2</sup></li> </ul>
(単独事業費) 西1号荷捌地 舗装補修工事	1,641,600	<ul style="list-style-type: none"> <li>舗装オーバーレイ A=299m<sup>2</sup></li> </ul>
石狩湾新港臨港地区 変更資料作成業務	3,898,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>臨港地区変更資料作成 石狩湾新港地域に指定する都市計画臨港地区の変更法定手続きに必要な、法定図書、都市計画審議会資料、関係機関協議資料などの作成を行った。</li> </ul>

第4款 災害復旧費

款	項	目	予算現額	決算額
災害復旧費	港湾施設災害復旧費	港湾施設災害復旧費	11,259,000 <sup>円</sup>	11,258,730 <sup>円</sup>
<p>(事業の概要)</p> <p>異常な自然現象によって被災した港湾施設について、機能を回復するための復旧事業を実施。</p> <p>主な事業の成果は、次のとおりである。</p>				
事業名	事業費	事業の成果		
本港地区北防波堤 災害復旧工事	11,258,730 <sup>円</sup>	復旧延長 L=15m 上部工 V=96m <sup>3</sup> 消波工 ブロック撤去・据付 N=6個		

# 港湾整備事業特別会計歳入歳出決算説明書

## 港湾整備事業特別会計歳入歳出決算説明

### 1 総括

平成27年度港湾整備事業特別会計における

歳入決算額は	1,261,172,892 円
歳出決算額は	1,261,172,892 円
であって、差引き	0 円

となった。

### 2 歳入

平成27年度の収入済額は 1,261,172,892 円

であって、これを

予算現額	1,276,418,000 円
内訳 { 当初予算額	1,427,829,000 円
{ 補正予算額	△ 151,411,000 円
{ 継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	0 円

と比べると △ 15,245,108 円

の収入減である。

この収入済額の内訳は、決算書の収入済額欄に掲げたとおりである。

### 3 歳出

平成27年度の支出済額は 1,261,172,892 円

であって、これを

予算現額	1,276,418,000 円
内訳 { 当初予算額	1,427,829,000 円
{ 補正予算額	△ 151,411,000 円
{ 継続費及び繰越事業費繰越額	0 円

と比べると 15,245,108 円

の不用額となった。

この支出済額の内訳は、決算書の支出済額欄に掲げたとおりである。

決 算 説 明 の 内 訳  
 港湾整備事業特別会計歳入歳出の科目別比較表

歳 入

(単位：千円)

科 目	予 算					決 算		比 較 (B) - (A)
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越 事業費 財源充当額	予算現額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	
1 使用料 及び手数料	401,873	15,847	0	417,720	32.7%	429,360	34.0%	11,640
2 財産収入	10	24,772	0	24,782	1.9%	25,935	2.1%	1,153
3 繰入金	370,686	△ 36,606	0	334,080	26.2%	316,985	25.1%	△ 17,095
4 諸収入	318,260	△ 155,424	0	162,836	12.8%	151,993	12.1%	△ 10,843
5 組合債	337,000	0	0	337,000	26.4%	336,900	26.7%	△ 100
合 計	1,427,829	△ 151,411	0	1,276,418	100%	1,261,173	100%	△ 15,245

歳 出

(単位：千円)

科 目	予 算					決 算		比 較 (A) - (B)
	当初予算額	補正予算額	前年度繰越 事業費 繰越額	予算現額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比	
1 総務費	275,238	6,901	0	282,139	22.1%	279,448	22.2%	2,691
2 港湾建設費	518,240	△ 155,424	0	362,816	28.4%	351,885	27.9%	10,931
3 公債費	633,851	△ 2,888	0	630,963	49.5%	629,840	49.9%	1,123
4 予備費	500	0	0	500	0.0%	0	0.0%	500
合 計	1,427,829	△ 151,411	0	1,276,418	100%	1,261,173	100%	15,245

## 第 1 款 総 務 費

区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1 項 総務管理費	282,139,000 <sup>円</sup>	279,448,019 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	2,690,981 <sup>円</sup>	

職員数 2 名 (全体 26 名)

### 主な支出状況

科 目	件 名	金 額	備 考
一般管理費		28,076,809 <sup>円</sup>	
給 料	職員2名	8,332,800	
職員手当等	職員2名	5,854,203	
共 済 費	職員2名	2,848,356	
施設管理費		251,371,210	
需 用 費	港湾施設電気料等	60,322,111	
委 託 料	ひき船運航管理業務等	179,085,633	

## 第 2 款 港 湾 建 設 費

区 分	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	備考
1 項 単独事業費	362,816,000	351,885,113	0	10,930,887	

### 支出状況

科 目	件 名	金 額	備 考
単 独 事 業 費		151,888,699	
負担金、補助 及び交付金	西地区公共下水道事業費負担金	151,888,699	
起 債 事 業 費		199,996,414	
委 託 料	花畔ふ頭用地実施設計業務等 6 件	14,568,226	
工事請負費	花畔ふ頭用地舗装工事外 1 件	184,582,908	



### 第 3 款 公 債 費

区 分	予 算 現 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	備 考
1 項 公 債 費	630,963,000 <sup>円</sup>	629,839,760 <sup>円</sup>	0 <sup>円</sup>	1,123,240 <sup>円</sup>	

#### 支出状況

科 目	支 出 先	金 額	備 考
元 金		571,966,751 <sup>円</sup>	
償還金、利子 及び割引料	財務省北海道財務局	140,858,756	組合債元金
"	(株)かんぽ生命保険(日本郵政グループ)	316,333,287	"
"	地方公共団体金融機構	53,922,518	"
"	(株)北洋銀行	60,852,190	"
利 子		57,873,009	
償還金、利子 及び割引料	財務省北海道財務局	22,967,504	組合債利子
"	(株)かんぽ生命保険(日本郵政グループ)	17,840,365	"
"	地方公共団体金融機構	7,249,618	"
"	(株)北洋銀行	9,802,098	"
"	札幌信用金庫	13,424	一時借入金利子

## 港湾整備事業特別会計歳入歳出決算主要な施策の成果

## 港湾整備事業特別会計歳入歳出決算主要な施策の成果

### 第1款 総務費

款	項	目	予算現額	決算額
総務費	総務管理費		282,139,000 <sup>円</sup>	279,448,019 <sup>円</sup>
		一般管理費	29,858,000	28,076,809
		施設管理費	252,281,000	251,371,210
<p>(事業の概要)</p> <p>ふ頭用地、荷役機械、上屋及びひき船など、特別会計において運営している施設の維持管理。</p> <p>主な事業の成果は、次のとおりである。</p>				
事業名	事業費	事業の成果		
ひき船運航管理業務	96,482,016 <sup>円</sup>	<p>次の業務などを実施することにより、本港を利用する船舶等への役務の提供が適切に行われた。</p> <p>ひき船運航に係る業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船舶離着岸補助業務</li> </ul>		
港湾施設等管理業務	25,094,484	<p>港湾施設の管理、環境保全及び荷役機械管理点検業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 港湾施設管理業務 (公共上屋5棟、トラックスケール、冷凍用コンセント)</li> <li>・ 環境保全業務(ふ頭用地草刈)</li> <li>・ 荷役機械管理点検業務 (フォークリフト、ガントリークレーン、天井クレーン)</li> </ul>		
大型荷役機械保守点検業務	40,597,200	<p>ガントリークレーンの保守点検・整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月例点検(11回)</li> <li>・ 年次点検(1回)</li> <li>・ 機器の整備</li> </ul>		
石狩湾新港地区 臨港道路外除雪業務	4,748,868	<p>ふ頭内道路等の除雪を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期間(11月～3月)</li> <li>・ 地区(花畔地区、樽川地区、東地区、西地区)</li> </ul>		
石狩湾新港給水業務	1,851,573	<p>入港船舶に対する給水業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 給水業務</li> </ul>		

第2款 港湾建設費

款	項	目	予算現額	決算額
港湾建設費	単独事業費		362,816,000 <sup>円</sup>	351,885,113 <sup>円</sup>
		単独事業費	162,816,000 <sup>円</sup>	151,888,699 <sup>円</sup>
		起債事業費	200,000,000 <sup>円</sup>	199,996,414 <sup>円</sup>

(事業の概要)

ふ頭用地、荷役機械、上屋及びひき船など、特別会計において運営している港湾施設に係る整備。

主な事業の成果は、次のとおりである。

事業名	事業費	事業の成果
(単独事業費) 西地区公共下水道 事業費負担金	151,888,699 <sup>円</sup>	次の業務等を実施することにより、港湾施設の整備促進を図った。 西地区における公共下水道について、工事負担金を拠出した。 ・ 汚水管渠 L=2,650m ・ マンホールポンプ 1基
(起債事業費) 花畔ふ頭 用地舗装工事外	184,582,908 <sup>円</sup>	・ 延長 L=836.29m 掘削工 V=4,780 <sup>m</sup> <sup>3</sup> 、路盤工 A=6,094 <sup>m</sup> <sup>2</sup> 舗装工 A=5,969 <sup>m</sup> <sup>2</sup> 、コンテナ載荷板 N=48枚 電気設備工 1式